

進化する都市型キャンパス

※緊急時、避難場所はグラウンド

伝統と進化が融合する東京農大の世田谷キャンパス。

都心に隣接しながら、広大な敷地内には100種類以上の樹木があふれています。

レストラン(学生食堂)・ショッピング

カフェテリアグリーン

17号館 1階

大学生協が運営している学生食堂。キャンパス間コラボメニューの提供などさまざまな企画も実施。

レストランすずしろ

18号館 1階

1955年から東京農大で営業している学生食堂。

サザコーヒー 東京農大店

国際センター 1階

三代目社長が東京農大OBという縁で2023年5月に開店。こだわりの豆を使ったコーヒーを提供。

農大CO-OP

常磐松会館本館 1階

購買、書籍、プレイガイドなど多方面で学生の学びと生活をサポート。

農大マルシェ

国際センター 1階

学生の研究成果やプロジェクトの一環として、東京農大ゆかりのさまざまな商品を販売。

コンビニ(セブン・イレブン)

常磐松会館本館 1階

ATM

ゆうちょ銀行、セブン銀行

常磐松会館本館 1階

三井住友銀行

守衛室北側



百周年記念講堂

100周年を記念して1995年に竣工した約1,000名収容の大型ホール。式典やシンポジウム、講演会、発表会など多目的に使用されています。



桜丘アリーナ

AED (1-2階)

バスケットボールやバレーボールなどの公式戦も開催可能な体育館。式典等では3,000名を収容可能です。

1階 トレーニングルーム



1号館

AED (1-3階)

地上6階建て。各学科の授業の多くはこの棟で行います。



農大アカデミアセンター

AED (1-3-8階)

地上9階、地下2階、総床面積17,000m²の近代的な建物は、東京農大の中枢を担います。

1階 入学センター/実学の杜(展示スペース)

2階 グローバル連携センター (Center for Global Initiatives)

3-7階 図書館

6階 キャリアセンター/情報教育センター

グラウンド

全面人工芝で全天候型400mトラックを備えています。



Tokyo University of Agriculture International Center (東京農業大学国際センター)

125周年事業の一環として2023年に竣工。「東京農業大学の叡智を世界に発信する『NODAI FLAGSHIP』となる」をコンセプトに建設。学内外のグローバルリーダー育成拠点としての取り組みを行います。

1階 榎本ギャラリー/農大マルシェ/サザコーヒー

2階 榎本ホール/カンファレンスルーム1,2

3階 校友会本部事務局

世田谷キャンパス「農ある風景」

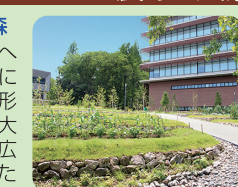
★ 農大の森

多種多様な樹木に囲まれた憩いのスポット。ベンチで森林浴をする学生の姿も。農大の森には豊受大御神の社殿が造営されています。



★ 経堂の森

北から南へと緩やかに上がる地形を活かし、大学周辺に広がっていただんだん畑、雑木林など里山の風景を再現。計画・設計には造園科学科 ランドスケープデザイン・情報学研究室の学生らが協力。



★ 農と水の森

水田、ビオトープや水みち、芝生広場で構成されているコミュニティスペース。水辺の自然学習の場、また学生や地域住民の集い・語らいの場として活用されています。



※画像は、計画時の模型

「食と農」の博物館

AED (1階)

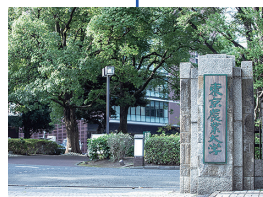
本学創設以来の長い歴史の中で培ってきた膨大な研究業績や教育実績である食と農に関する「知」を集積し、学内外に展示。熱帯地域のめずらしい動植物も観賞できます。

NODAI Science Port(農大サイエンスポート)

AED (1-2-3-5階)

4学部15学科83研究室が集う、東京23区内最大級の研究施設。世田谷キャンパスの3・4年生と大学院生の約4,000名が、この研究棟で研究活動を行っています。

応用生物科学部 生命科学部
地域環境科学部 国際食料情報学部



正門

AED (守衛室)

戦後、この地に移転してきた時から学生を見守ってきた門柱。門標は棟方志功の揮毫です。

